

その他の医療保健業における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	12~13	自動車がバックで進入してきたため荷卸しのため近付いた際、普段通りのスピードだったためそのまま止まると思ったが止まらず、轢かれて後方に倒れた。	65~299	100
7	11~12	訪問介護で一件目の訪問を終え次の利用者宅へ行く途中に発生。電動自転車で走行中雨天にて雨具装着にて視界が狭かった。車道に向かって脇道より出ようとする手前にて前方から走って来た、20代男性の乗るスポーツタイプ自転車と正面衝突した。右側に自転車と共に倒れ頭部打撲裂傷出血あり、右側腹部を強打した。激痛のため動けず管理者に連絡があった。検査、治療を受けた。	48~49	30
7	12~13	会社に帰る途中、フットブレーキを踏み過ぎ、ブレーキが効かなくなり、動いている検診車から飛び降りた。降りたときに検診車と接触し、右足首・左脚・左腕を骨折した。	44~299	100
10	13~14	当事者自転車にて走行中、交差点にて左折。左折直後、正面より車両がきており、正面衝突を避ける為に、自ら左側に転倒し受傷。車両との接触なし。なお、左折後の道幅が狭く、車両の左側をすり抜けることが出来なかった。	65	1~9
12	12~13	被災者は、原付バイクで住宅街の交差点を走行中、直進して交差点に進入した。一時停止しのため、一時減速した後、再び加速し、時速約20km程度で進入した所、進行方向右手から、自転車が一時停止をせずに進入してきた為、被災者のバイク右側面と相手方の自転車の前輪が接触し、路上で転倒し、ガードレールに左上半身から衝突し、左鎖骨の骨折に至った。	49~29	10

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html